

魅力あるまちづくり若者会議（第7回）会議録

日 時 平成27年1月20日（火）午後6時から
場 所 中野市役所31号会議室
参加者 コーディネーター 東京成徳大学 三枝准教授
高校生 3人
メンバー 8人 トライアル参加 2人
傍聴者 1人
主催者 2人（事務局）

①会長 開会あいさつ

②トライアルメンバー 自己紹介

③コーディネーター 今後の進め方

コーディネーター

今日の予定を説明して、グループワークに入っていきたいと思います。前回、前々回とメンバーが色々と思いを語って頂いたモノをベースに、メインになっているキーワードを元に、農業体験や、イベント関係、まちづくり関係、情報・人づくり関係、といったグループ分けをこちらでして、今回会議の通知文でお知らせしました。

農業関係者、商業関係者はそれぞれバラバラになるように、メンバーをテーマ毎に分けています。

今日は、この4つのテーマについて、グループで話し合ってもらい、次回、もう1度、グループで話し合いをして頂き、3月は発表会という急ぎ足の段取りになっています。

自分達がやりたいと考えていることをまとめていき、3月に発表してもらいますが、どこまでの精緻なものができるかは、今のところ問いません。

やりたいことは漠然としていても良いですので、とにかく、中野市の元気に繋がること、中野に人が来る、定住が促進される、中野の産業が元気になる、若者がやりがいがあって、住み良いまちになる、色々なことをテーマにして、プロジェクトを考えて頂ければ良いと思います。

今日の段取りは7時半までグループで話し合ってもらい、その後、意見を簡単にまとめたものを発表して貰います。

次回同じことをもう一度やる予定ですが、発表会まで時間がなく、会議以外に自主的な集まりを持って頂かなければ、間に合わないかも知れないので、次回の様子を見て決めて行きたい。

グループの話し合いの最初は、前回、話したことを復習してもらい、それぞれの内容、より具体的にしてみてください。

整理の仕方は5W1Hで。「いつ」「どこで」は今決めることは難しいですが、それを意識して整理してください。

話し合いをして行くと、「誰がやるの?」と「お金は?」と言うことが出て来ると思うが、今回は何となくのイメージを考え、議論を進めて行ければ良いと思う。

勝手にグループ分けしたので、自分は違うテーマをやりたいという人がいたら、言って下さい。農業とイベント、まちづくり、人づくり、情報をテーマにしていますが、相互にオーバーラップする部分が必ず出てくる。農業体験とイベント、まちづくりとイベントのように、オーバーラップして貰って問題ないです。チームとして1度まとめてもらい、他のチームとオーバーラップしている部分は、後ですり合わせて調整すれば良いと思っていますので、他のチームのテーマだから、関与してはいけないということはないです。

自分がやりたいことは、このテーマじゃなく別にあるという人は、単独で意見をまとめてもらえば良い。

リーダーも私の方で決めてありますので、リーダーを中心に話し合いをしてください。

④グループワーク（4グループ）



• 農業体験



• イベント



• まちづくり



• 人づくり&情報



⑤今日の結果発表

・まちづくり

まちづくりチームでは、一番の基本の「何をしたいのか？」を考えて、若い人に中野市に住んで貰うにはどうしたらいいのかを大前提にしました。

強制的に、まちの中に住んで貰うと言う、前回、私が話をしたシェアハウスについてです。

高校生の親御さんも、子どもが、高校を卒業した後に、一人暮らしするかも知れないので、その前に、一人暮らしの疑似体験をシェアハウスでしたり、高校生の受験勉強をそのシェアハウスでする。

シェアハウスに価値があるのではないかと思い、場所は学校に近い所につくり、住んでいる人はまちのイベントには強制参加。

高校生という縛りを最初に考えたのですが、中野市で農業をしたい人に住んで貰って、農業の勉強会をシェアハウスで行うのも良いのではないかと思います。

シェアハウスに住めば、親御さんも心配は不要ですし、高校生も楽しく勉強ができ、まちのイベントにも参加できると楽しいと思って考えました。

コーディネーター

質問がありましたら、どうぞ。本当に親御さんが安心するのか？高校生の勉強がはかどるのか？という素朴な疑問はありますが、プラスの面を考え、その需要があるのではないかという考えですね。

・イベント

最初、誰を呼ぼうという話になりました。中野市に高校が2つあるのに、それを有効活用しないのは勿体ないという話が出て、高校生をターゲットにする。また、女性をターゲットにすれば、一緒に来る男性もいるのではないか。

女性は甘い食べ物が好きだし、高校生は食べ盛りだと思うので、ビュッフェとか、食に関するイベントを開催できたらいいのではないかと、今、話が盛り上がっています。

イベント内容については、何種類か出ているのですが、ジビエを使った料理や、高校生をターゲットにして、市内企業の人と歓談の機会をイベントに盛り込めたらいいのではないかと、ビュッフェのメニューも地元産のモノを使って作りたいのではないかなど、まだ、具体的に詰めた話ができなないので、漠然としていますが、まずは胃袋を掴んで、心をつかもうということです。

コーディネーター

企業と高校生を結び付けるような内容がイベントに入ってくると、発展が期待できる感じがしますね。イベントをして、そこに仕掛けるやり方が大事だと思う。

あと、誰がやるの？という話もあるし、もっと詰めて行く必要がありますが、原理原則に基づいた発想だと思います。

・農業体験

農業体験ですが、若者は農業体験より、遊びや趣味に時間を使うので、ターゲットは、北信地区の中老年、家族と考えました。

ゼミの学生とも話をした、農作業を手伝って貰い、市内で使える商品券のようなポイントをその手伝ってくれた人に配付して、そのポイントを市内商店で使って貰う。

栽培する農作物については、まだ絞り込めていません。

農家の登録や、青年部等の団体の登録が必要になるのではないかという話が出てきました。とりあえず、まだこの程度しか話がまとまっていません。

コーディネーター

ターゲットが若い人かと思いきや、中老年に絞って、農作業を手伝って貰いながら、その中老年の人が、休耕地を活用して農業を始めるかもしれないという展開を見据えていると思います。

どの位、需要があるかは不明ですが、中野市、そして北信地域が高齢化を迎えることは間違いなし、退職した人達が、何をするかを考え、その中老年のエネルギーの使い方を考えることは、面白い視点だと思う。具体的な話になるとやはり難しいところがあるが。

・人づくり・情報

人づくり・情報チームでは、イベントやきっかけ、話題があつてこそ情報発信が始まるのではないかと。中野にどのようなイベントや話題があるかを出し合ったのですが、新幹線開通、御開帳、銀座NAGANO、サザエさんのオープニングで、今、中野市が出ていること、これはまだ今はなく、希望なのですが、中野をPRするCM、ローカルテレビで中野市を取材して貰う番組などが、話題に出て、イベントの情報をどのように発信していくかですが、長野県人が集まる県人会に情報を発信して、そこから情報が広がって行けば良いのではないかと話がありました。

どこかへ出かけるとなった時に、何を参考にするか？と考えた時、ツイッターやフェイスブックのSNSを見ると思うのですが、観光協会や情報誌が発信している以外の、裏情報、地元の人しか知らない情報をSNSで発信したら、中野市のことを知らぬ人が、知るきっかけになるのではないかと案が出ました。

今のところは、このような状態です。

コーディネーター

サザエさんのオープニングで中野市が流れていることは知らなかった。

そういうところもアピールするきっかけになると思う。

人、情報は、どちらかと言うと、イメージ的には他のチームが色々企画し、プロジェクト化する時に、有効にならしめる仕掛け、インフラを作ることができれば良い。

色々な方法論が考えられると思う。メディアだけではなく、昔ながらのやり方のフェイスツールフェイスで、県人会が有効的に機能する場合もある。そういう昔ながらのやり方も大事にし、色々な仕掛けにチャレンジすると面白い。

さて、今日、話し合った感覚はどうですか？3月の発表会までに、考えを練り上げることは大変

であり、今日の段階が20%、30%だとしたら、それを発表会までに100%にする為には、まだまだ話し合う必要がある。

⑥事務連絡

事務局 次回及び発表会の日程、資料等の説明

コーディネーター

今、この若者会議のようなモノが、徐々に広がり、注目度が高くなって来ている。ここで考えていることが、決して絵に描いた餅ではなく、実現する可能性が十分ある。

だから、3月の発表会は、大変重要になるかも知れない。次回1回だけでは、次々回の発表会までに、考えを練り上げることは難しい。SNSなどを使いながら、発表資料作りのようなことをする必要があります。その時には、事務局や私が色々なアイデアや考えを事前に見せてもらえればと思います。以前、講演していただいた治田さんは「愛のあるダメだし」と言っていましたが、そういうこともあるとお含み置きいただいて、発表できる内容に近づけ、形にして行きたいと思っていますので、各チーム、そして全体で力を合わせて、これから先、一緒に進めて行きたいと思っています。

4月以降もこのチームで、考えたことを、具体的に実現する段階に突入して貰いたい。発表会が終わったから、終わりではなく、引き続きこのメンバーで色々と考え、それを実現して行きたいと思っている。

今日、新しく二人をお迎えしていますが、是非、お二人も引き続き参加して頂き、できるのなら、同じ「中野市を良くしたい。中野市を楽しみたい」という思いのある友達を沢山集めメンバーになって貰って、考えたことを実現するフェーズに向かって元気に、活気を持って進めて行きたい。そうすると、次に新しいアイデアが出てきて、また違う展開ができることを期待しております。